

電波時計 取扱説明書 (掛時計)

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合
お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

This product is intended for the Japanese market.

Service and technical support for this product are available only within Japan.

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**
(フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 4MY○○○、4MYA○○

(Y1204)

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。

必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 氏名

ご住所

TEL ()

※販売店印 (住所、店舗名、電話番号)

※印は販売店記入

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。 This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただいたききました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

- 保証書のご提示がない場合。
 - 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
 - お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
 - お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
 - 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
 - お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
 - ご使用中に生じる外観上の変化（ケース、ガラスなどの小キズ）
 - 電池の交換
- ※ 送料・出張料は、実費をいただきます。

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

必ず守ってください。

図記号の説明

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示しています。

❗は、指示する行為を必ずすることを示しています。

警告

死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

❗ 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届かない所に置かない
必ず守る 万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

⊘ 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。 ●電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。 ●加熱したり、火の中に入れてたりしない。

⊘ 電池から液漏れが起きてしまったときは、素手でさわらない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●漏れた液に直接触れないでください。

ゴム手袋をして電池を外し、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意

傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容

⊘ 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない

さびの発生や故障の原因になります。

⊘ 強い振動や衝撃を与えない

故障や破損の原因になります。

⊘ 分解したり改造しない

けがや故障の原因になります。

⊘ 下記のような場所では使わない

品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。 ●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。 ●プール、温泉場などガスの発生する所。
- 温度が+50℃以上の所。 ●調理場など多くの油を使用する所。
- 温度が-10℃以下の所。 ●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。
- 屋外などほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。

●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

●静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

静電気の影響

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス (+)、マイナス (-) を間違えない。 ●時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。 ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。 ●幼児の手が届かない所に置く。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。

(例 . Panasonic オキシライド乾電池)

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

●使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。

●買い置き電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

注意

電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。



電池・時計の廃棄

●お住まい地区自治体の指定に従ってください。

●電池と時計を分別して廃棄してください。

おもな製品仕様

時間精度 ●標準電波の受信に成功直後 秒針 ±1秒以内 時計/分針 目盛りに対して±3度
●標準電波を受信しない場合 平均月差 ±20秒以内(常温中)

使用温度範囲 -10～+50℃ *結露しないこと

使用電池 単3形アルカリ乾電池 JIS規格LR6 1個

電池寿命 約1年間 標準電波の受信に成功しているとき

電波受信機能 標準電波受信による時刻修正

受信局 福島局、九州局自動選択

受信 ON/OFF ボタン操作で ON/OFF 切り替え 工場出荷時 ON

受信回数 最少 1回/日 最多 6回/日 受信状況により受信回数や受信時刻は変わります。

受信開始時刻 2時、3時、4時、12時、13時、14時 各時間帯の16分20秒に受信を開始

午前2時16分20秒は必ず受信を行う。

●製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

単3形アルカリ乾電池 1個 木ねじ 1個 取扱説明書・保証書 本書

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

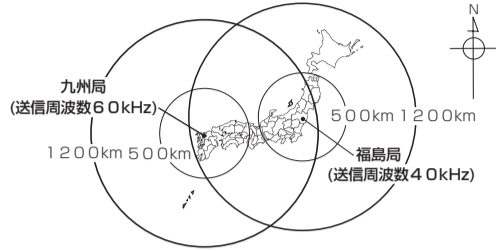
標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

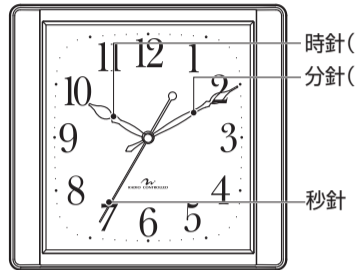
送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

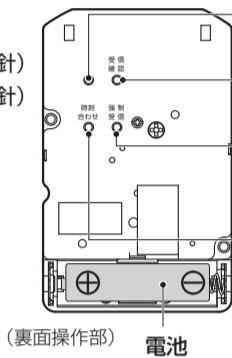


●図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。

(正面)



時針(短い針)
分針(長い針)
秒針

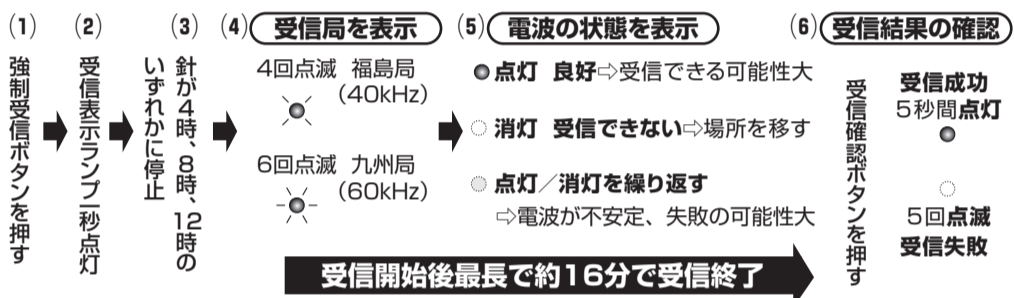


受信表示ランプ
受信状態や受信結果を表示します。
受信確認ボタン
受信結果を確認するときに押します。
強制受信ボタン
電池を入れたときや誤作動したときに押します。
時刻合わせボタン
電波を受信できないときなど手で時刻を合わせるときに使用します。
不用意に押すと時刻が変わります。

針の動き……通常の時刻表示
時針・分針：10秒に1回動く。
秒針：1秒ステップ。
※自動受信により、時刻を修正するときは早送りで移動することがあります。

この時計には、暗くなると秒針を止める機能は付いていません。

受信の流れと受信表示ランプの見みかた



電波サーチ機能の使い方……電波を受信しやすい所を探すには

- 窓際やベランダで(5)まで行い、受信表示ランプが点灯していることを確認します。
▶消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めて試してください。
- 時計を掛けたい所に移動して、受信表示ランプで受信状態を見ます。
消灯している場合は、時計の位置を変えてみてください。

Ⓐ 電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般に夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える
窓ぎわやベランダなど電波の受信しやすい所で、取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向けて、強制受信ボタンを押して受信を開始してください。

電波を受信できないときは、手動で時刻を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ……受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。
※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。
☞ **ⓐ電波受信機能のON/OFF操作** 参照。

操作

- 時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進み、押し続けると早送りで動きます。
- 時刻合わせボタンを押し続けると秒針は12時位置に停止します。
- 秒針の動きについて
時刻合わせボタンを離れたときに、ゼロ秒に設定されます。
秒針が12時位置に止まっていないときは、早送りで現在時刻の秒位置まで移動します。

Ⓑ 電波受信機能のON/OFF操作

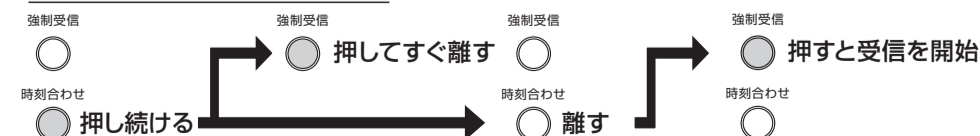
誤受信しやすい所や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクォーツ精度になります。

■電波受信機能をOFFにするには(受信機能を無効にするには)

強制受信ボタンをおよそ1秒間隔で4回押します。OFFになると強制受信ボタンを押しても、受信表示ランプは点灯しなくなります。強制受信ボタンは、受信表示ランプが点灯したらすぐに押してください。押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。
※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。
※時刻は手動で合わせてください。

■電波受信機能をONにするには(有効にして受信を開始するには)

電波受信機能は、工場を出荷するときにON(有効)にしています。
OFFの状態からONにするときには、時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



ご注意

- ※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。
- ※電池を取り出しても設定を長い時間保持しますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがありますので、電波受信機能をOFFにして、手動で時刻を合わせてください。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高压線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



使用方法 標準電波を受信して時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**手動での時刻合わせ** を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

①電池を入れる

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れます。
電池の⊕⊖を逆向きに入れると、時計は動きません。

②強制受信ボタンを押す…… 受信の流れと受信表示ランプの見かた

受信表示ランプが点灯して、針が12時、4時、8時のいずれかに移動して、受信が終わるまで停止しています。
※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。

③時計の掛けかたに従って時計を確実に掛ける

④受信開始から16分後に受信結果を確認する

受信が終わると針が動き始めます。
受信確認ボタンを押してすぐに離すと、受信表示ランプが受信結果をお知らせします。
5秒間点灯：受信成功(正しい時刻)
5回点滅：受信失敗(不正確な時刻) → **Ⓐ電波を受信できない場合**へ
2回点滅：受信機能がOFF 消灯したまま：受信中
○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
○受信表示ランプは、24~25時間以内の受信結果を表示します。

こんなときには電池の交換が必要です

- 時計の進み/遅れが大きいとき。
- 針が不規則な動きをするとき。
- 電池を交換してから1年経過したとき。

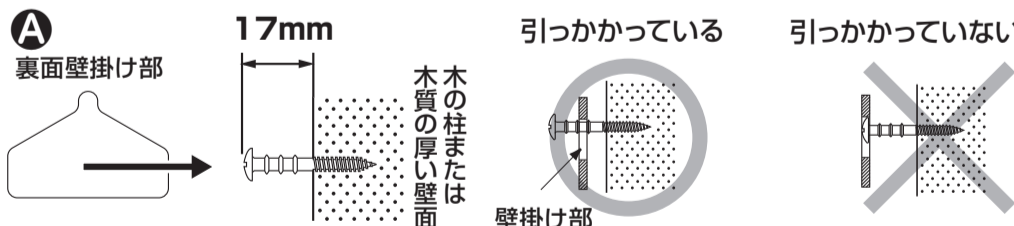
時計の掛けかた

⚠注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

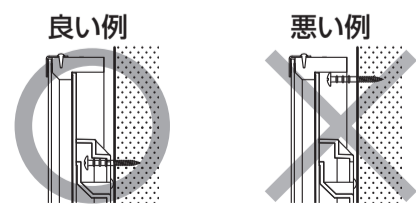
木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。
- 壁掛け部の形状は、商品により異なることがあります。



⚠注意

○時計の壁掛け部以外に掛け具(ねじ)を禁止 掛けない
時計の落下により、物品の損傷やけがの原因になります。



その他の壁面の場合

- 石こうボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。